



第89回 近畿陸上競技選手権大会

競技注意事項

本大会は、無観客での実施とする。

※ 入場者名簿を必ず作成し、提出すること

1 競技規則について

本大会は、2021年 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習場及び練習について

(1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
8月27日(金)	13:00 ~ 16:30	13:00 ~ 16:30
28日(土)	7:30 ~ 8:30	7:30 ~ 17:00
29日(日)	7:30 ~ 8:10	7:30 ~ 17:30

※ 本競技場では、競技会運営の準備も並行して行うので、安全に十分注意すること

(2) 本競技場での練習は、トラック種目と跳躍種目のみとする。また、用具については、補助競技場を含め競技場備え付けの物を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。

(3) トラックのレーンの使用については、以下の通り。

1~2レーン：中長距離・競歩 3~6レーン：短距離(リレー練習含む) 8・9レーン：ハードル
第1~第3コーナーの7・8レーン：ハードル

(4) 本競技場のフィールド内芝生は、全面立入禁止とする。

(5) 投てき種目の練習は、公式練習以外、競技場内外を問わず一切禁止する。(メディシンボール練習等も含む)

(6) 練習会場では、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド2F裏通路・北側に設ける。

(2) 招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は招集所内に持ち込まないこと。

(4) 招集の手順

① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で、自分のビブスナンバーに○を付ける。その際、アスリートビブス及びシューズ・商標の点検を受ける。トラック種目出場者で、腰ナンバー標識が競技者係から配布された場合は、右腰のやや後方につけること。また、フィールド種目出場者は、フィールドシューズの申告書の提出をすること。

② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備)

(5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

(6) リレー種目について

① 「オーダー用紙」は、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。プログラム巻末の所定の用紙に、必要事項を記入のうえ提出し、「控え」を受けとること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし、処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。

※ ユニフォームは同型・同色を原則とする

② リレーに用いるマーカーは、出場チームで準備し、使用後は各チームで責任を持って取り除くこと。

(7) 混成競技について

① 第1日及び第2日の最初の種目については、招集所にて指定された時刻に行う。2種目目以降は、当該競技役員の指示に従うこと。

※ トラック種目は10分前、フィールド種目は30分前までには現地に集合すること

② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に「多種目同時出場届」を提出しておけば、直接現地への移動を認める。(トラック種目優先)

4 競技進行について

(1) 番組編成及びラウンドの通過について

① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。なお、トラック競技の決勝進出者及びレーン順については、番組編成員が競技規則に従い公平に抽選して決定し、招集所の番組編成板で発表する。



第89回 近畿陸上競技選手権大会

- ②トラック競技における次のラウンドへの進出者について
- (P) (+α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
- ・レーンに余裕がある場合 同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合 本人または代理人により抽選する。
- (イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合、(+α)での進出者数を減らす。
- (ウ) オープンレーンを使用する種目(800m含む)は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は、全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ① 当該種目出場競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- ② トラック競技で使用できる靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。

(注)競技用シューズに関するルールについて

本競技会のフィールド競技においては、競技規則 TR5.5 を適用しない。よって、記録は国内でのみ通用するものとなり、WA(世界陸連)への申請も行わないものとする。しかし国際競技会への参加資格となり得る記録が出た場合のために、招集段階で全フィールド競技者および混成競技者は『競技用シューズ申告書』を提出する。国際競技会への参加資格となり得る記録が出た際には、事前提出の『競技用シューズ申告書』で規定違反のある競技者の記録には「TR5.5」と付記し、WAに全競技者の記録申請を行う。

- ③ 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は、11本以内とする
- ④ アスリートビブスは、配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。
- ⑤ 不正スタートについては、混成競技を除いて、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。(競技規則162条6、第200条8、国内ルールを適用)
- ⑥ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通り。

走高跳	男子	(練習) 1m85	1m90- 95- 2m00- 05- 08- 以後3cmずつあげる
	女子	(練習) 1m55	1m60- 65- 70- 73- 以後3cmずつあげる
棒高跳	男子	(練習) 4m00 4m50	4m10- 20- 30- 40- 以後10cmずつあげる
	女子	(練習) 3m00 3m50	3m10- 20- 30- 40- 以後10cmずつあげる

※ 同記録による1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする

(4) 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

走高跳	男子	(練習) 1m50 1m75	1m55- 60- 65- 70- 75- 80- 85- 88- 以後3cmずつあげる
	女子	(練習) 1m25 1m45	1m30- 35- 38- 41- 以後3cmずつあげる
棒高跳	男子	(練習) 2m50 3m50	2m60- 70- 80- 90- 以後10cmずつあげる

(5) 走幅跳においては、

男子：Aピット(試技順 No.1~17・スタック側)と、Bピット(試技順 No.18~33・トラック側)の2ピットで行う。

女子：Aピット(試技順 No.1~14・スタック側)と、Bピット(試技順 No.15~28・トラック側)の2ピットで行う。

(6) 三段跳においては、

男子：Aピット(試技順 No.1~14・スタック側)と、Bピット(試技順 No.15~28・トラック側)の2ピットで行う。

女子：Aピット(試技順 No.1~15・スタック側)と、Bピット(試技順 No.16~29・トラック側)の2ピットで行う。

踏切板は、男子：13m00 女子：11m00 に設置する。

(7) 競技中に起きた競技者の行為又は順位などに関する抗議は、競技規則146条に基づいて行うこと。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の 80分前から 60分前 までとし、南用器具庫(フィニッシュ地点横)で行う。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任は負わない。
- (3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを 2 個まで、サークルからの投てき種目では 1 個置くことができる。個人の所有物は使用できない。走高跳の競技者は、各自でマーカー(粘着テープ、2 箇所まで)を用意し使用してもよい。

6 各種目表彰、表彰式について

- 各種目 3 位 までの入賞者を表彰する。
結果発表のアナウンス後直ちに、受賞者席(メインスタンド下中央ロビー)に集合すること。

7 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。また、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

8 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、2 日間とも 7 時30分 とする。
- (2) 記録及び番組編成は、場内アナウンス及び公式ホームページ上で公開する。
- (3) 場所取りについて
 - ① 選手控え場所は、別表 選手控え場所配置図 を参照のこと。
テントは、メインスタンド中段通路より上部の屋根のない部分と、芝生スタンド中央通路より上段、競技場外周道路の競技場側(グリーンベルトより 1 m あける)、補助競技場サイドに設置できる。
ただし、競技運営等に支障がある場合は、撤去・移動をお願いする事がある。
 - ② 競技場内外に設営しているテント・横断幕・シート等は、毎日撤去して持ち帰ること。
 - ③ 横断幕は、芝生スタンド後ろのフェンスに設置すること。ただし、各チーム・各学校 1 枚までとする。
 - ④ のぼりについては、芝生スタンド後ろのフェンス及びメインスタンドの中段通路より上部の手すりに設置してもよい。ただし、個人名入りの物は禁止する。
 - ⑤ テント・横断幕・のぼりの設置にテープを使用する場合は、必ず養生テープを使用すること。
 - ⑥ メインスタンドのロイヤルボックスには立ち入らないこと。
- (4) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- (5) 応援はスタンドで行い、集団での発声や連呼応援は禁止する。
- (6) 更衣室の使用は、更衣のみとし、私語はせず、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。その際、正面玄関からの出入りは禁止する。
- (7) 競技中に起こった疾病・傷害については、本部の医務室で応急処置は行うが、以後の責任は一切負わない。
- (8) スタンド等使用した場所は、各チーム・各校で責任を持って清掃し、ゴミは各自で持ち帰ること。また、駅・競技場周辺のごみ箱等には絶対放置しないこと。(競技場周辺にごみ箱はありません)
- (9) 貴重品・荷物等は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。

重要 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

- (1) 会場内では、主催者から配られた「IDカード」を、確認できるように携帯してください。
- (2) 会場には、アルコール消毒液の準備はしますが、「マスク着用・ソーシャルディスタンスの確保」などの感染防止対策を徹底してください。
- (3) 密集・密閉・密接空間をつくらないようにしてください。
- (4) 近距離での会話や発声を避け、応援など大きな声を出すことは控えてください。
- (5) 長時間会場に留まることのないようタイムテーブルを確認の上、競技会に参加してください。
- (6) 投てき競技のすべり止めの準備は、各自でしてください。

以上のお願いに同意できない場合は、今回の競技会への参加はご遠慮ください。